

記者資料提供（2026 年 2 月 17 日）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO） 大原、大泉

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp



# KIITO:

地域活動とサステナビリティをテーマに開催。  
第 8 回「300 秒プレゼンテーション交流会」

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりトークイベントを開催いたします。



デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）では、社会貢献活動、地域活動を支援する「KIITO:300 ファーム」の取り組みとして、第 8 回「300 秒プレゼンテーション交流会」を開催します。

より豊かな社会を目指す地域活動においては、消費するだけでなく、自分たちで「つくる」こと、地域資源や関わる人を「循環」させながら継続していくことが重要なテーマとなっています。本イベントでは、そうした「サステナビリティ」の視点をもとに、神戸を中心とした地域で実践を重ねる担い手たちの活動に注目します。

当日は 5 団体のプレゼンターを迎え、300 秒でそれぞれの活動について発表していただきます。地域の未活用資源の再生や循環、ラジオ配信を通じた場づくり、里山との関わり、空き家・古家の活用など多様な実践の紹介と共に、活動自体を持続可能なものとして育てていくために、工夫や課題を共有する場となることを目指します。

また、プレゼンテーション終了後にはプレゼンターと参加者との交流会を開催します。

神戸を面白くする活動に関心のある方、社会貢献活動や地域活動に興味・関心のある方はもちろん、これまで関心のなかった方も大歓迎です。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

タイトル：KIITO:300 ファームトークイベント 第8回「300秒プレゼンテーション交流会」

テーマ：地域活動とサステナビリティ

日時：2026年3月17日（火）19:00～20:30

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）3F KIITO:300

参加費：無料

対象：社会貢献活動や地域活動に関心のある方、これまで関心のなかった方など、どなたでも

定員：30名程度（事前申込制、先着順）

プレゼンター：※五十音順に記載

小田さくら（株式会社 ODAT）、福崎千晃（ドキュメンテーションデザインラボ合同会社（DDL） | テテマーチ株式会社）、丸山僚介（山脈）、山田隆大（大衆園藝団やまとた）、山森彩、東善仁（塩屋の住環境特集 | 合同会社ユブネ）

申込み：2026年2月17日（火）15:00からウェブサイト（<https://kiito.jp>）にて受付

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4 開館時間 | 9 時～21 時 休館日 | 月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日）

WEB | <https://kiito.jp/>

## 【プレゼンター プロフィール】



### 小田 さくら（株式会社 ODAT）

古民家コトノハ代表。大手住宅設備メーカー勤務後、出産を機に「子育て中の女性の働き方」を支援するソーシャルビジネスに参画。2022 年、須磨区にて飲食店とソーシャルビジネスを融合させた拠点「古民家コトノハ」を立ち上げる。古民家や放置竹林といった地域の未活用資源を「人・もの・コトがつながる場」として再生。行政・企業・教育機関を巻き込み、単なる支援にとどまらない、地域の担い手を育てる「循環型コミュニティ」の形成に注力している。「こども食堂フェスティバル」の企画・運営。2023 年 BE KOBE ミライプロジェクト「神戸市長賞」受賞。



### 福崎 千晃（ドキュメンテーションデザインラボ合同会社（DDL） | テテマーチ株式会社）

兵庫県生まれ。グローリー(株)、神戸芸術工科大学実習助手を経て、2021 年に芸術工学博士号を取得。現在はテテマーチ(株)で Instagram 分析ツールのプロダクトマネージャーを務める傍ら、DDL にて記録による学びの深化を研究。地元たつの市では、誰もが誰かを包み込む社会を目指す「T-SIP」や、市民の力でまちの未来を創る「しんぐう Next」にて、記録とデザインを通じた市民活動を展開している。2020 年始動の「まるまるのそもそもラジオ」では、対話から生まれる新たなつながりや、活動を未来へ循環させる場づくりを実践中。仕事と地域活動を横断し、持続可能な社会のあり方を模索している。



### 丸山 僚介（山脈）

神戸市北区の裏六甲を望む有馬の入り口にて、地域資源の循環拠点「山脈」を営んでいる。循環型社会を目指したプロダクト・空間の設計を起点に、リサーチ、企画、編集、デザイン、制作までを担当。地域の資源と人々の暮らしのあいだに立ち、“手もとにある豊かさ”に出会うための場と仕組みをつくっている。合同会社廃屋にて古材のストック&リサーチプロジェクト「ビバーク」の企画・運営も担当。



### 山田 隆大（大衆園藝団やまとた）

神戸市北区在住。元神戸市役所農業専門職。役所時代は、「EAT LOCAL KOBE」や「神戸農村スタートアッププログラム」、「KOBE URBAN FARMING」の立ち上げなど、都市住民が農漁業を知る機会の創出に尽力する。2025 年 3 月末で神戸市役所を退職し、近隣の農業者と一緒に「一般社団法人やまとた」を設立。同年秋から管理されていない農地や里山を利用して、都市住民が気軽に里山に関わる仕組みづくりを開始。同時に自身も農業者としてのスキルアップを目指している。



### 山森 彩、東 善仁（塩屋的住環境特集 | 合同会社ユブネ）

塩屋的住環境特集は「小山の家」の小山直基と 3 人で塩屋のまちの空き家・古家活用に取り組むプロジェクト。塩屋 5 丁目の長屋に事務所を構え、フリーペーパー専門店「只本屋」の塩屋出張所を営みながら、このまちのユニークな住環境を日々「特集」している。

また合同会社ユブネとしての専門はコミュニティデザインとプロジェクトプランニング。西区「西神中央クロッシング」(22 年～24 年) 長田区市民ライター発信「ながたもん」(23 年～) 西区「ワールドワイドマッピング」(25 年) 新開地アートひろば「しんかいち旅行社」(24 年) またその知見をもとに対話やファシリテーションにも従事。神戸市「対話コーディネーター研修」(25 年) 25 年は厚労省の「ひきこもり VoiceStation 全国キャラバン」のトークとワークショップを担当し、6 都市を回った。

## 【過去に実施した 300 秒プレゼンテーション交流会の様子】

KIITO:300 ファームでは、これまで 7 回にわたり、地域で活動するさまざまな団体や個人が活動についてプレゼンし、参加者を含めた交流会を行いました。



写真左・中央：プレゼンテーションの様子 写真右：交流会の様子